

2018年12月1日
第114号

発行：日本臨床検査技師連盟
発行責任者：楢山 広美
編集担当者：中井 規隆

日本臨床検査技師連盟ニュース 連盟ニュース

今号の主な内容
北日本、関甲信・首都圏ブロック報告
自由民主党臨床検査に関する制度推進議員連盟開催
アンケート調査報告
技師連盟会員募集

支部学会連盟ブースでの活動報告

(北日本、関甲信・首都圏ブロック)

各支部で日臨技支部学会が開催されます。毎年、各支部学会の展示場の一角に連盟ブースを開設し、連盟の広報、加入促進を行っています。お近くの支部学会にご参加際にはぜひお立ち寄りください。連盟ニュースでも支部からの報告を掲載します。

支部	開催日	開催地	会場名
北日本支部	平成30年11月10～11日	青森県	リンクステーションホール青森
関甲信・首都圏支部	平成30年10月27～28日	群馬県	ホテルメトロポリタン高崎
中部圏支部	平成30年11月24～25日	三重県	三重県総合文化センター
近畿支部	平成30年12月 1～2日	奈良県	奈良春日野国際フォーラム 観 Ⅰ・RA・KA
中四国支部	平成30年11月24～25日	香川県	サンポート高松、かがわ国際会議場
九州支部	平成30年10月 6～7日	大分県	別府国際コンベンションセンターB CON PLAZA

平成30年度日技連北日本ブロック活動報告

平成30年度日臨技北日本支部医学検査学会(第7回)時の連盟ブースについて

～アンケートとスタンプラリーの効果～

去る11月10日(土)11日(日)に青森市のリンクステーションホール青森にて平成30年度日臨技北日本支部医学検査学会(第7回)が開催されました。学会参加者は約700名と集計されており、盛會に終了いたしました。また、学会中は会員に日技連の説明及び勧誘を行う良い機会であり総合受付付近に連盟ブースを設置して、楢山代表はじめ北日本の各道県連盟執行委員が法被姿で「アンケート」のお願いやパンフレットの配布等で加入を呼びかけました。総合受付付近と言う事や、学会主催側の配慮で各会場を巡る「スタンプラリー」の指定場所にもして頂き、人通りに恵まれてたくさんの方々に呼びかける事が出来ました。アンケート記入時間内に来年度から会費が値上がりする事等も丁寧に説明しながら呼びかける事ができて、期間中に連盟登録して頂いた会員も例年より多くおりました。



また、10日に行われた連盟ブロック会議は日技連・連盟執行委員・日臨技・日臨技幹事が出席して行われ、小川しんじ候補予定者支援の確認や今後の加入促進について話し合われました。若年層への呼びかけ強化を目指してYoutube上で「3分で解る!日本臨床検査技師連盟(仮)」の作成を検討する事等も提案されて有意義に終了しました。10月末現在の加入人口数は440口、加入者数は334名で

す。北日本ブロックの目標加入人数は1202名で、目標にはまだ届きません。今学会でのアピール効果や連盟会議で各道県も活動にテコ入れとなりましたので、今後の伸びに期待して目標に届く様に体制を強化いたします。

北日本支部ブロック長 藤田秀文

平成30年度日技連関甲信・首都圏ブロック活動報告

学会スタッフの理解と協力で効果大

平成30年10月27日(土)～28日(日)の平成30年度日臨技 関甲信支部・首都圏支部医学検査学会(第55回)に於いて日本臨床検査技師連盟ブースを設置しました。ブースでは活動を知って頂き入会者に繋げていくために、従来のポスターとノボリに加え新しく次の4つの試みを実施しました。

- ・当日来訪者の入会促進、即日入会の受付
- ・宮島喜文氏の活躍が掲載された「宮島喜文通信」の配布
- ・学会用に次年度会費の自動引き落としへの意思の確認
- ・ブースに留まらず会場内で積極的に活動

ブースの設置場所がスタンプラリーの開催場所ということや、次年度全国開催の東京都ブースおよびe-ラニングのブース等、人気のブースと隣接ということもあり多数の会員が訪れました。ブースに訪れない会員にも派手なブースは目に止まり連盟の活動をアピールする事ができました。今回は学会スタッフのご理解、ご協力もあり、とても効果的に活動することができました。学会スタッフの皆様ありがとうございました。



日技連 津田 聡一郎

自由民主党臨床検査に関する制度推進議員連盟が開催される

平成30年11月30日(金)8時から自由民主党本部において「自由民主党臨床検査に関する制度推進議員連盟 議員99名」が開催されました。出席議員は本人、代理を含めて40人(議員16人 代理24人)の出席をいただきました。

冒頭、衛藤征士郎会長の挨拶(下記挨拶全文)をいただき、引き続き細田博之顧問、古川俊治幹事長の挨拶の後、議事に入りました。

議事の冒頭、厚生労働省吉田医政局長のご挨拶に続き、平成30年12月1日から施行されます医療法等の一部を改正する法律の施行内容等の説明が行われ、出席した関係団体から平成31年度予算・税制等に関する要望聴取を実施し、厚生労働省の関係部署から要望に対するご意見等が聴取されました。

日臨技と日技連は、日臨技の代表理事副会長・日技連副代表である横地常広が下記の要望事項について、説明を行った。

日臨技と日技連の共同要望事項の概要

国民の健康を測る検体検査の品質・精度確保のために

外部精度管理調査に対する予算措置の要望

精度管理の義務化への要望

高度な知識・技術を必要とする検査の品質の確保のため業務独占の要望

臨床検査技師によるタスクシフティングの推進のために

検査手順の説明・静脈採血等の業務移管の推進のための臨床検査技師の病棟配置の要望

静脈ラインの確保の業務移管のための法整備の要望

臨床検査技師教育制度(受検資格)の見直しの要望

在宅医療における適切な臨床検査を活用するための研究費の要望

検査データの標準化の推進と集積臨床データの活用のための研究支援の要望

衛藤会長挨拶全文

本議員連盟は、平成28年11月30日従来の議連を拡大改組し、発足し、今日で丸2年を迎え、衆・参99名の先生方のご賛同を得ています。この間、先生方には色々な場面において臨床検査関係の発展のためにご尽力いただき感謝申し上げます。本日は、関係団体から、日衛協から江川会長、日臨技から横地副会長、臨薬協から小野会長、卸連合から菅谷会長、医学会から矢富理事長がお見えになり、厚生労働省から吉田医政局長を初め担当者の方がご出席いただいています。

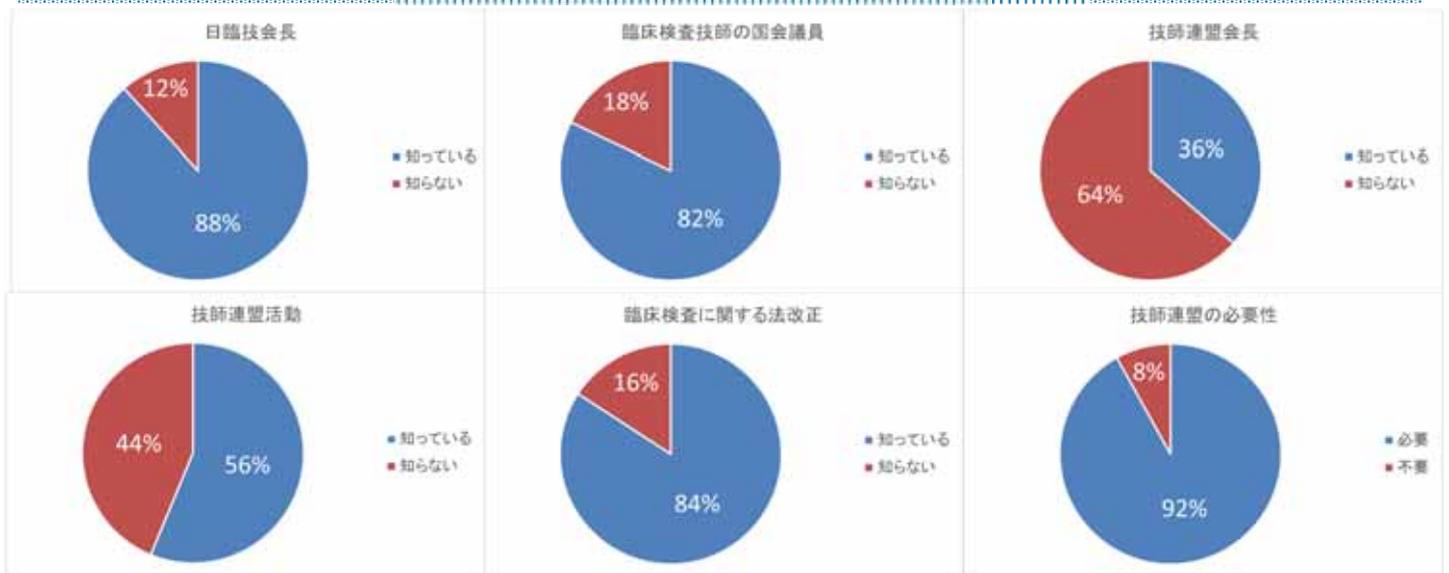
さて、我が国は少子高齢社会に突入し、抜本的な社会保障制度改革に取り組むため、医療提供体制を含めた医療制度の見直しを図って参りました。その医療制度の中で、とりわけ臨床検査は、国民の生命と健康を守り、安全・安心、かつ良質な医療を提供するため、精度管理の向上に切磋琢磨し、疾病予防及び疾病の診断に多大な貢献をしています。

この様なことから、検体検査の精度を確保するための、「医療法等に関する法律の一部を改正する法律案」が昨年6月7日、参議院本会議で全会一致で可決成立しました。これに先立ち、衆議院本会議においても全会一致で可決しました。このことから、本改正案が如何に国民にとって有用な改正であったかが伺えます。

臨床検査の世界は、急速に進む技術革新で近い将来、大きく変貌するのではないかと考えています。国は、インターネットや人工知能、そしてロボット開発に取り組んでいます。臨床検査へ人工知能を持ったロボットが活用する時代が、もうすぐそこまで来ているのではと思っています。私どもも時代沿って法整備等を行っていく必要があると思います。このような医療を取り巻く環境の中で、臨床検査が引き続き重要な役割を担い将来の展望を持てるようにするためには、医療制度の中で臨床検査の重要性が適切に評価される法制度等に改革する必要があると考えます。

今日は、厚生労働省職員も出席いただいておりますので、臨床検査に携わる関係団体の要望等をお聞きし、今後の政策等に活かしたいと思っていますので、何卒宜しくお願いいたします。

各地区で行われた支部学会の技師連盟ブースにて アンケート調査を行いました。



	総数1033人	知っている	知らない
1)現在の日本臨床衛生検査技師会の会長を知っていますか？		913	120
2)臨床検査技師の国会議員を知っていますか？		849	184
3)日本臨床検査技師連盟の代表を知っていますか？		377	656
4)日本臨床検査技師連盟の活動(役割)を知っていますか？		581	452
5)ここ2年間で臨床検査に関する法改正を知っていますか？		870	163
6)日本臨床検査技師連盟は必要と思いますか？		947	83

技師連盟会員募集!

臨床検査技師の業務は「臨床検査技師等に関する法律」で定められています。

臨床検査技師という職業は、法律や制度の下で仕事をしています。その法律を変えるには、主務官庁への陳情し「閣法」（内閣が提出する法案のこと）、「議員立法」（国会議員による立法）が必要です。日本臨床衛生検査技師会は、主務官庁への改正要望を行って来ましたが、法改正へ繋がることは中々できませんでした。

日本臨床検査技師連盟って何？

という方々が多いのは事実です。

みなさま 政治団体と聞いただけで尻込みしないでください



業務範囲を変えるには政治の力が必要です。

日本臨床衛生検査技師会では政治活動が出来ないため、日本臨床検査技師連盟を平成10年7月に設立いたしました。以降、政権与党の国会議員との接触し、平成18年には、念願の議員立法による「臨床検査技師等に関する法律」という現在の名称に改正、平成28年参議院議員通常選挙では臨床検査技師から宮島喜文参議院議員を輩出することができました。

活動には団結と資金が必要。

国の政策一つで、大きな影響をうけます。だから「国政に臨床検査技師の声を届けなくてはならないよね。」でも、あなた一人で、いくら大声で叫んでも声は届きません。みんなが一つになって、国政に声を届けなきゃいけない「連盟」はそのためにあります。

日本臨床検査技師連盟では、随時会員を募集しています。

会計年度は1月1日から12月31日までの1年として東京都選挙管理委員会へ報告しています。会費は1口3,000円、1口以上として募集しています。是非ご賛同くださるようお願い致します。加入はwebページで登録が可能です。

